

活動実績報告書

平成26年 1月 7日

登録番号 20140667

氏名 谷川 誠

1. 活動状況

平成23年 4月 ~ 平成26年 3月

・活動の概要

平成24年度から、林業普及指導員（以下、普及員）に対し、それぞれの地区の森林経営計画の数値目標を設定し、行程管理により作成促進を図った。

この取り組みを円滑に進めるためには、まずは普及員を始め、関係する市町村職員、森林組合等林業事業体へ、森林経営計画についての制度や意義、計画作成から実行に至るノウハウの理解醸成が重要と考えた。

そこで、普及員による森林経営計画の促進プロジェクトチーム（以下、プロジェクトチーム）を結成し、関係する市町村職員、森林組合等林業事業体を対象に、年間を通じた集合研修を開催し、理解の醸成を図った。

なお、研修の内容は、森林経営計画策定・実行に必要な知識や技術等を習得するための研修で、具体的には、①森林経営計画作成実務研修、造林事業研修、②集約化研修、③路網選定研修、④施業収支見積研修、システム収穫表研修等を開催した。

研修は、平成25年度から愛知県で開始することとなる森林施業プランナー育成研修までを補完する研修としての意味合いも含めることとした。

・当該活動を挙げた理由

市町村森林整備計画の実行にあたり、実務担当者の意識や知識・技術の向上を図り、森林経営計画の作成を促進し、計画に基づく施業実施につなげる必要があるため。

・当該活動における、あなたの立場と役割

普及員を統括する本庁担当課の立場で、普及員によるプロジェクトチーム結成の取りまとめを行った。

また、研修の企画、運営への参加と、外部講師との連絡調整を主に行った。

注1:1. 活動状況については、直近の過去5年間に、森林総合監理士としての活動に関連していると考えられる、又は森林総合監理士として取り組んだ具体的な活動内容を記載してください。

・活動上発生した問題点と課題及びそれへの具体的対応策

森林経営計画制度がスタートしたばかりで、森林経営計画の制度や意義、作成・実行する上での知識、技術について、関係する市町村職員、森林組合等林業事業体職員に、理解が進んでいないことが一つの課題であったため、まずは制度の説明、作成方法から始め、実行する上での知識、技術を習得する研修を開催した。また、より高度な専門知識や技術の習得研修に係る講師については、外部講師に依頼することとした。

・活動による成果で残された課題及び今後の改善方策

集合研修では、講師からの説明を受動的に受ける形式が中心であったが、地域や事業体ごとに状況や課題が異なるため、地域に合った内容の研修や課題解決のための取り組みをそれぞれの地域で実施し、レベルアップを図ることが必要と考えられる。

2. 研修の受講状況

研修名 (実施主体)	<u>准フォレスター研修</u> 林野庁	平成23年7月、9月
---------------	-------------------------	------------

研修名 (実施主体)	<u>准フォレスター通信研修</u> 林野庁	平成23年12月
---------------	---------------------------	----------

研修名 (実施主体)	<u>准フォレスター集合研修</u> 林野庁	平成24年2月
---------------	---------------------------	---------

3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況

- ・全国先進林業地の現地調査、林業機械展、林業機械化シンポジウム等での情報収集
- ・H23～H26 森林作業道作設オペレーター育成研修、現地検討会の企画、助言等
- ・H24 補正 林野庁先進的林業機械緊急実証・普及事業運営委員会参加

注2: 2. 研修の受講状況、及び3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況については、直近の過去5年間に取り組んだ具体的な内容と時期を記載してください。

注3: 活動実績報告書は、A4で全2枚としてください。

注4: この活動実績報告書は、このままPDF化して林野庁ホームページに掲載しますので、見やすさ読みやすさ、個人の特定等、公開に差し障りのある表現にもご配慮ください。